令和８年11月９日

令和８年度屋外広告士試験における出題ミスについて

一般社団法人日本屋外広告業団体連合会

本年10月25日に実施しました第35回屋外広告士試験の設計に係る学科試験「問題Ｃ　設計・施工」の問14・アンカーボルトに作用するせん断力と引抜き力の組み合わせを問う問題におきまして、選択肢に正しい組合せが無い設問が出題されておりました。

また、実技試験「実技試験問題　設計・施工」では、課題図のうち、看板面端から柱までの距離750㎜を示す平面図と立面図の引出線の位置が異なる課題図で出題されておりました。

このため試験問題の作成、採点等を行う試験委員会において対応を検討した結果、学科問題につきましては、問14に関しては、回答の有無にかかわらず全員正解とする事といたしました。

実技試験につきましては、答案の作図において看板面端と柱までの距離750㎜を示す引出線につきましては、平面図・立面図いずれに基づく作図でも可とする事といたしました。

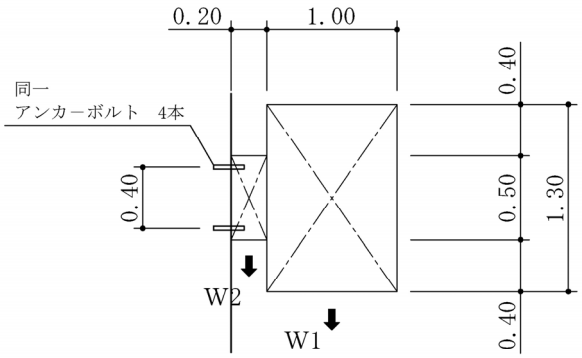
本件につきましては、当連合会ホームページでお知らせするほか、対象となる受験者の皆様に直接お知らせいたします。

受験者並びに関係者の皆様に、大変なご迷惑をお掛けいたしますことに深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことが二度と起こらないよう、再発防止に努めてまいります。

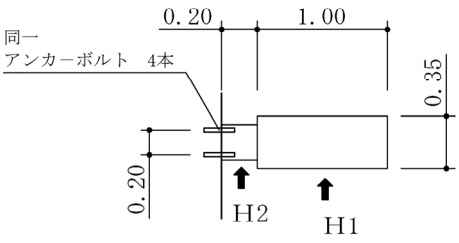
〔問合せ先〕
(一社)日本屋外広告業団体連合会
倉本　卓（くらもと・たかし）
電話０３－３６２６－２２３１

【学科試験出題内容】

【問14】図のような突出広告板(ブラケットも含む)に、長期荷重（看板体 W1＝1.00kN、ブラケット W2＝0.20kN)、風圧力(3.00kN/㎡)による風荷重(H1, H2)が作用した時、アンカーボルトに作用する応力の組合せとして、**正しいもの**はどれか。



（立面図）



（平面図）

（単位：m）

	せん断力	引抜き力
1．	1.05 kN	13.80 kN
2．	1.35 kN	13.80 kN
3．	1.05 kN	14.25 kN
4．	1.35 kN	14.25 kN

【学科試験正答】

長期せん断力

（看板重量）（ブラケット重量）

ＱＬ＝(1.0kN＋0.20kN)／４＝0.30kN

長期引張力

（看板重量）（壁面と重心距離）（ﾌﾞﾗｹｯﾄ重量）（壁面と重心距離）（2ヶ×抵抗距離）

ＮＬ＝((1.0kN×0.70m)+(0.20kN×0.10m))／(2×0.40m)

（長期引張力）

＝0.90kN

風圧時

（看板横幅）（看板高さ）（風圧力）（看板水平力）

Ｈ１＝1.00m×1.30m×3.00kN/㎡＝3.90kN

（ブラケット横幅）（ブラケット高さ）（風圧力）（ブラケット水平力）

Ｈ２＝0.20m×0.50m×3.00kN/㎡＝0.30kN

風圧時せん断力

（看板水平力）（ブラケット水平力）

ＱＷ＝(3.90kN＋0.30kN)／４＝1.05kN

風圧時引張力

（看板水平力）（壁面と重心距離）（ブラケット水平力）（壁面と重心距離）（2ヶ×抵抗距離）

ＮＷ＝((3.90kN×0.70m)＋(0.30kN×0.10m))／(２×0.20m)

（風圧時引張力）

＝6.90kN

最大せん断力（せん断力）

（長期せん断力）（風圧時せん断力）

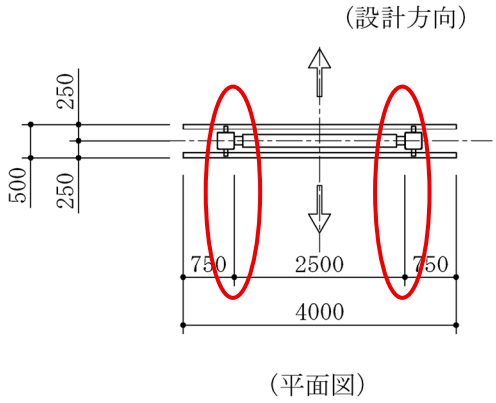
Ｑｓ＝0.30kN＋1.05kN＝<u>1.35kN</u>

最大引張力（引抜き力）

（長期引張力）（風圧時引張力）

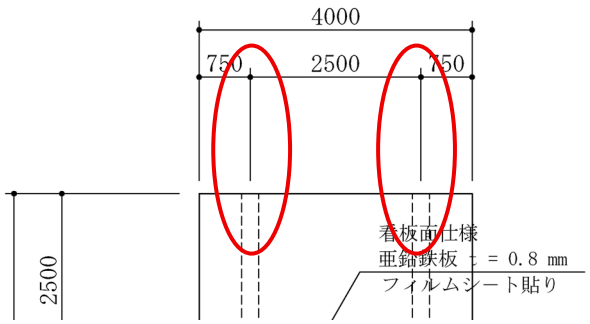
Ｎｓ＝0.90kN＋6.90kN＝<u>7.80kN</u>

【実技試験出題内容】



（平面図）

平面図では、750㎜の位置は、板面端から柱内側までの距離として示されている。



立面図では、750㎜の位置は、板面端から柱中心までの距離として示されている。